

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理NO. 1
施設の名称	尾花沢市体育施設(体育館、総合球場、サッカー場、多目的広場、スポーツロード、長根山遊歩道)	指定管理者	NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ
所在地	尾花沢市新町3丁目5番35号	市担当課	社会教育課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1. 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	協定書や仕様書に基づき、窓口業務および施設管理業務を行っている。その他事項への対応についても、迅速で的確な対応を心がけている。 屋外施設(総合球場・サッカー場)については、利用者が気持ちよく、そして最高のプレイができるように常日頃より気を使いながら芝刈り、追肥、消毒・清掃等の作業をしている。スポーツロード等についても下刈りなど環境整備においても必要に応じ実施している。 屋内施設において、こまめな換気や清掃を行い、心地よく利用していただきことを心がけている。	評価 B	《評価の理由》 協定書や仕様書に沿った適正な管理運営がなされている。特に芝生の管理については頻りに整備し、良い状態を保つように努めている。また遊歩道の枯木や倒木の処理等の整備を行うなど、環境整備にも努めている。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	施設利用について、引き続き利用の直前まで申請の無い場合がある。屋外施設は、無人化の設計で作られているが、無料化により照明の点消灯などで無人では対応できない。例えば電気代がかかる照明などには、使用料を発生させてもいいのではとの考えもあるので検討を願う。施設使用料を支払う券売機については、今後の新札対応、交換部品(カード)がないなどの不具合が発生している。こちらの対応もお願いした。また、リニューアルから20年がたち、以前からの課題となっている施設および設備の経年劣化がさらに進んでいることは引き続きの課題となっている。	《課題等の原因分析》	施設の予約については、申請書の提出を徹底することと、マナーを守った利用を改めて周知しなければならない。しかしながら、接客に対するご意見もいただいていることから、改善の指導を行っている。施設の老朽化に伴い修繕・更新が必要な箇所が出てくるが、利用者の安全を第一に考え、優先順位を決定し対応していく必要がある。まずは、日頃の施設内の点検により、危険箇所や修繕箇所等の早期把握に努め、軽微なうちに対応するように努めていくことが求められる。
③管理運営の今後の対応(改善策)	施設の申請については、減免利用時に特に多いことから、後援申請の決裁の期日を踏まえ1カ月前までにどのような基準を設けることで、申請者が直前でなく申請できるのではないだろうか。(遅れた場合は後援等を許可しないなどの処置も場合によっては必要かと) 照明点灯消灯については、現在職員が現地に赴き行っている。今後、券売機の老朽化でカードによる点灯もできなくなっていることから、点灯消灯方法についても検討を願いたい。その他、施設および設備の経年劣化への対応に関しては、担当課と協議しながら優先順位をつけて順序だてて長期的な修繕計画を立てる依頼をしている。		

2. 利用者からの要望等への対応

①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	現在のところ、具体的に示すことができるご意見やご要望はありませんが、意見・要望が出ればその大小にかかわらず、担当課へ報告している。また、施設利用時間等の延長に要望に対しての対応など、指定管理者側で対応できる要望には迅速に対応することを心がけている。その他、大掛かりな工事を伴うような要望、意見については担当課へ報告し、対応の可否を含め協議しながら順序だてて対応している。	評価 B	《評価の理由》 施設の運営などに関しては、随時、協議を行ったうえで改善に向けて対応しているが、時に厳しい意見も聞こえてきている。中には、取捨選択を行いつつ、必要な部分の改善に努めたい。
-------------------------	---	--------------------	---

3. 指定管理者制度活用の効果

①サービス向上のための工夫	空き施設の有効活用による利用率の向上。 空き施設を活用しての新規事業の提案。 新たな施設の利用方法の提案。 利用者の安全への配慮。 職員の研修等への参加によるスキルアップ。	評価 B	《評価の理由》 利用者の安全への配慮を常に行っており、SNS(LINE、facebook)を活用した迅速な広報にも取り組んでいる。今後、職員の研修等への参加やスキルアップに、尚一層取り組んでほしい。
②経費の削減対策	作業の内製化および分業化。 事業所内における電力供給会社の変更。 こまめな点灯・消灯。 日常的な機器類の点検 クラブのボランティアメンバーの活用。	評価 A	《評価の理由》 電力供給自由化の活用や職員による軽微な修繕等経費削減に積極的に努めている。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	作業内製化による雇用の創出。 新規事業による雇用の創出。 指定管理業務以外の業務受託による待遇改善 施設を地域コミュニティの場として提供することを目的としたさまざまなイベント、教室の開催。	評価 B	《評価の理由》 スポーツ活動の中心的拠点であるが、スポーツ学童の受入れ等、青少年の育成や地域コミュニティづくりに寄与するとともに、会員特典として商店街等の独自サービスを受けられるなど、地域活性化にも貢献している。

	総合評価	
選定委員会による総合的な評価	B	《意見、要望等》 指定管理者に対し、利用者からのご意見に対応できるよう指導の徹底をお願いしたい。マスコミ報道された件については、指定管理者と市でしっかりと認識を合わせるとともに、マニュアルを整備するなど、ミス防止に向けたやり方を検討していただきたい。

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 2			
施設の名称	尾花沢市老人福祉センター	指定管理者	尾花沢市社会福祉協議会
所在地	尾花沢市新町三丁目2-5	市担当課	福祉課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証	
1. 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること) ②管理・運営上の問題点(改善すべきこと) ③管理運営の今後の対応(改善策)	尾花沢市老人福祉センターの目的である高齢者と福祉関係団体の利用ニーズは十分対応できた。	評価	《評価の理由》
		B	社会福祉における代表的な組織である社会福祉協議会として、施設の設置目的を理解し、概ね適正な運営を行っている。
	設備・備品の老朽化が課題となっている。	《課題等の原因分析》	施設の建築から30年を経過し、設備・備品の老朽化が課題となってきた。指定管理者と連携を図りながら、修繕箇所の把握に努め、修繕を計画的に行っていくよう対応していく。
	市および指定管理者による十分な協議を行い問題解決にあたる。指定管理料については施設の良好な維持管理とサービスの維持向上のため協議を行う。また、施設の老朽化に関して利用者や職員の意向を把握し、市とも協議の上、随時修繕を進めていく。		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	福祉団体の利用等で土日の使用依頼があり対応した。また、消毒や換気、アクリル板の設置など感染対策に努めた。 さらに大規模災害時に対応できる災害ボランティアセンターの体制確保・機能充実に努め、利用者のニーズに応えていきたい(土日や夜間は原則休館)。	評価	《評価の理由》
		B	利用者および関係団体等の要望に適切対応している。
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	地域福祉の拠点として今後とも福祉の向上に努めていく。また生活困窮者を対象とした相談機能の強化に努める。	評価	《評価の理由》
		B	平成27年から設置した生活自立支援センターについては、今後も市民への周知理解に努めていただきたい。
②経費の削減対策	特に節電や節水、広場トイレの冬季の閉栓に努めている。	評価	《評価の理由》
		B	不要な照明の管理等経費の削減に努めている。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	除排雪・草刈など外部に委託し、可能なものは職員で対応する。ボランティアの受入を通して、事業の周知と交流人口の拡大に努めている。	評価	《評価の理由》
		B	豪雪地帯ならではの課題解決のため、ボランティアからの支援や広域的連携により地域の福祉課題に積極的に対応している。
選定委員会による総合的な評価	総合評価 B	《意見、要望等》 今後も地域との連携を図り、市民ニーズに対応した運営をお願いしたい。	

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理NO. 3	
施設の名称	道の駅尾花沢	指定管理者	みちのく村山農業協同組合
所在地	尾花沢市大字芦沢	市担当課	建設課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1. 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	市の観光情報の提供と物産等の展示販売や、利用者に休息とサービスを提供する場所として適宜イベントを実施した。 利用者数 164,215件(前年比 124.5%) 総売上金額 234,323千円(前年比 128.2%) 内産直売上 69,123千円(前年比 112.0%) インバウンド消費も売上回復に影響してきたと思われる。 緊急時の体制・対応 ・消防計画に基づく防火体制の整備 ・緊急連絡体制の整備 ・災害用マンホールトイレの整備	評価	《評価の理由》 基本協定及び年度協定、仕様書等に基づき適正に実施されており、季節に応じたイベントの開催や従業員のおもてなし対応など、適正な管理運営に努めている。 利用者・総売上については、前年度よりアップしているものの「新型コロナウイルスの鎮静化や大石田村山～東根北間開通など好条件が重なったことによるより戻し」と取れなくもないため引き続き「飽きさせない工夫」を求めたい。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策の継続と経営対策 ②SNSやHPを活用した宣伝 若者に向けての情報発信を行える施設 ③レジシステムの改善 キャッシュレス決済の導入及びセルフ化 ④インバウンド向けの案内看板等の整備 日本語以外の表示が必要 ⑤屋外パイプハウス部分の改築(外観の美化) ⑥放送設備の改善(屋外放送) ⑦老朽化している施設の修繕 ⑧防犯対策の徹底(防犯カメラの性能強化・増設)	《課題等の原因分析》	建設後15年が経過しているため老朽化が進んでいる。空調設備はもちろん最近では自動ドアが開閉回数250万回を超えている。自動ドアについては直ちに破損の恐れがあるという話ではないが、更新の時期に差し掛かっているため、計画的な設備の更新が必要である。
③管理運営の今後の対応(改善策)	課題については、関係機関との協議が必要。また計画的な取得や改善に向けた予算化を検討する。大型バスによる団体客の誘致(観光会社・バス会社へのアプローチ)。冬季間の利用が少ない為、近隣の市町村及び県内からのリピーター確保。また、市内観光名所への案内を行うためのツールも必要となっている(MAPの作成等)。		

2. 利用者からの要望等への対応

①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	お客様から寄せられた意見要望等をまとめ検討した結果、これまで様々な施設整備等を実施してまいりました。昨年度と同様、トイレ関係の意見要望が多く、改善できることから実施し利便性の向上を図ってまいりました。 今後とも、アンケートを継続して利用者の意見・要望を把握し、的確な対応に努めてまいります。また、案件によっては、関係当局と協議してまいります。	評価	《評価の理由》 前年度までのトイレに関する意見要望等と比較すると件数が格段に減っていることが確認できる。
-------------------------	--	----	---

3. 指定管理者制度活用の効果

①サービス向上のための工夫	従業員への教育・研修を実施し、施設の役割について認識を深めてまいりました。今後も各種研修会への出席を通じサービス向上に努めます。	評価	《評価の理由》 利用者の皆様の声をお聞きし、適切な対応を行っている。今後も利用者の目線に立ったサービスを心がけるよう求める。
②経費の削減対策	施設の役割を考慮したエネルギー節減に取り組みました。	評価	《評価の理由》 適切な施設管理を行っていると思われる。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	事業計画に基づき地域住民と一体となった各種イベントの開催や産直会の新規加入や販売活動を実施し、地域の活性化に努めてまいりました。	評価	《評価の理由》 令和4年度は開設15周年のため記念イベントを開催し、クラフトビールや芋煮汁を振る舞うなどマンネリ化にならぬようちょっとした工夫が見られる。

選定委員会による総合的な評価	A	総合評価 《意見、要望等》 コロナ禍前までの水準に戻ってきていることは喜ばしい。 今後は競合施設が増える中で、施設のリニューアルを含め魅力アップに繋がりたい。
----------------	---	--

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 4

施設の名称	尾花沢堆肥センター	指定管理者	有限会社 スカイバイオテックス
所在地	尾花沢市大字六沢字蒲地566-12	市担当課	農林課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証	
1. 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	管理・運営状況については、「尾花沢堆肥センターの管理運営に関する協定書」の通り履行されており、運営委員会においても、より良い運営の為の協議が十分になされています。	評価	《評価の理由》 堆肥販売収入が前年度を上回っている。管理経費の収支状況も黒字であり適正に履行している。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	機械設備の故障の頻発、発酵棟屋根の劣化が見られた為、各関係機関と協議調整し更新を実施して頂きました。また、外壁・舗装路面の損傷等が目立ってきておりますが、大きな問題となる前に対応し、より長く施設を利用出来る様、努めてまいります。	A	《課題等の原因分析》 機械設備の故障、建屋の劣化は家畜排泄物の成分による影響、舗装路面の損傷は堆肥運搬のためのホイールローダー走行による影響が大きい。いずれも施設運営上避けられないものである。
③管理運営の今後の対応(改善策)	上記②の対応遅れに起因する事故等の無い様に、指定管理者による点検、修理を徹底致します。ただし、指定管理者による対応が難しいと考えられる事案に関しては、各関係機関と協議調整の上、対応したいと考えております。また、今後考えられる大規模な修繕等に関しては、長期修繕計画を立て対応していきたいと考えております。		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	利用料金を安くして欲しい等の声がありますが、搬入される堆肥の水分調整用の副資材(高価)が多量に必要となり、現状では利用料金の値下げは非常に困難であると考えられます。利用料金は、水分率によって2段階の処理単価を定めており、各利用者に堆肥の下処理を徹底してもらう事で、利用料金を安く抑える事が可能になってきます。	評価	《評価の理由》 堆肥の下処理を促す提案を行うなど、利用料金の値下げに努力している。
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	製品の出荷予測から生産計画を立てており、利用者が搬入出来ない等の事態にならぬよう、円滑に施設を利用出来る事を定義として、常日頃より業務を行っております。	評価	《評価の理由》 搬入・搬出が滞らないよう、計画を立てて行っている。
②経費の削減対策	当施設の主な消費エネルギーは電気・軽油ですが、特に電気に関しては、契約電力の最大値を抑えられる様に機器の稼働時間をずらす等の対応をしています。軽油に関しても、無駄なアイドリングはしない等の対策を行っています。	評価	《評価の理由》 電気料、燃油価格が高騰するなか経費削減に努めており、指定管理料は発生していない。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	堆肥化処理が円滑に行われ、「臭わない、ベトつかない」が売りの完熟堆肥も地域の方々から大変好評であります。また、全国各地より視察に訪れる方々が、堆肥センターの管理・運営の参考として帰られる方が多いです。	評価	《評価の理由》 完熟堆肥の評価が高く、資源循環型農業に貢献している。また、市外への販売も行っており、利益向上に努めている。
選定委員会による総合的な評価	総合評価 A	《意見、要望等》 黒字経営が継続されていることは喜ばしいこと。余力ある運営であり、施設の老朽化など今後の対応に備えられたい。	

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 5

施設の名称	尾花沢市中心商店街活性化センター	指定管理者	尾花沢市商店街協同組合
所在地	尾花沢市新町一丁目16番1号	市担当課	商工観光課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証		市(施設所管課)による評価・検証
1. 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	管理業務基本協定書並びに年度協定書に基づき管理運営を実施しました。夜間、休日等の管理はシルバー人材センターに委託しています。清掃、整理整頓を心掛け、利用しやすい環境づくりに努めています。緊急時における対応については、連絡網を通じて報告、指示を行えるようにしています。	B	《評価の理由》 管理運営については、協定書等に基づき適正に行われています。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	老朽化が進んでいる為、修繕が必要だと思われる箇所が多々あり、6月に外男子トイレ手洗場照明器具交換、12月に駐車場消雪用散水ノズルのつまり修繕を行っています。		《課題等の原因分析》 平成7年に建築され、28年が経過しており、設備等の老朽化が進んでおります。指定管理者と連携を図りながら修繕箇所や、危険箇所の把握に努め、設備更新を計画的に行っていきます。
③管理運営の今後の対応(改善策)	市担当課とも協議しながら、修繕やメンテナンスが必要などころから随時行い利用者の安全管理に努めていきます。		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	今後も利用者の声に耳を傾け、柔軟に対応していきます。 また、利用者等の意見や要望を把握するため、「ご意見箱」を設置している。	B	《評価の理由》 利用者の要望等に対し、柔軟に対応しています。
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	使いやすい施設づくりに努め、施設内はもちろん、周辺的环境整備を行い、快適に利用していただけるように努めています。	B	《評価の理由》 利用者本位のサービス提供に努めています。
②経費の削減対策	節電、節水を心掛け、紙を貼るなど、施設利用者にも呼び掛け、維持管理費のコスト削減に努めています。	B	《評価の理由》 節電節水を呼び掛けるなど、エネルギーの効率的な利用に努めています。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取組み	商店街主催の各種イベントの開催、元気おばね商品券の販売など中心商店街の活性化に取り組んでいます。観光パンフ、飲食店情報、シルバー人材センターの雇用、職業案内、市内イベント等の情報提供を行っています。	B	《評価の理由》 ・商店街協同組合が指定管理者となることによって、商店街活性化を目的とした各種イベントや宅配サービス事業など様々な取り組みがなされています。 ・各種パンフレットを設置し、情報等提供に努めています。
選定委員会による総合的な評価	B	《意見、要望等》 商店街の中心的な施設として、近隣の高齢者の居場所づくりなど、集客が図られるような仕掛けを考えていただきたい。	

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 6

施設の名称	尾花沢市共同福祉施設	指定管理者	尾花沢市商工会
所在地	尾花沢市若葉町1丁目2番18号	市担当課	商工観光課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証	
1. 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	管理業務基本協定並びに年度協定に基づき管理運営を実施しました。夜間、休日等の管理は、シルバー人材センターに依頼している。利用者には気持ちよく利用していただくよう心がけている。緊急時における対応については、連絡網を通じて報告、指示を行えるようにしている。	評価 B	《評価の理由》 管理運営については、協定書等に基づき適正に行われています。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	令和4年度中、古くなったロビーの応接セットを机と椅子を更新。老朽化により備品の損傷しているため、担当課と相談しながら更新が必要。暖房器具や空調設備も故障が目立ってきているが、その都度、担当課に連絡して修繕している。	《課題等の原因分析》 平成4年に建築され30年以上経過しており、設備等の老朽化が進んでおりますが、指定管理者と連携を図りながら修繕箇所や、危険箇所の把握に努め、設備更新を計画的に行っていきます。	
③管理運営の今後の対応(改善策)	商工観光課とも協議しながら、修繕やメンテナンスが必要などから随時行い利用者の安全管理に努めていきます。		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	利用者の要望に耳を傾け、柔軟な対応に努めている。 また、利用者等の意見や要望を把握するため、「ご意見箱」を設置している。	評価 B	《評価の理由》 利用者の要望、ニーズに等に対し、柔軟に対応しています。
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	利用者の要望に応えるべく貸出業務を行っている。利用者が利用しやすい環境整備に努めている。基本的には事前申請(使用料の前納)としているが、施設の空き状況や人員体制等も勘案して、柔軟な対応に努めている。	評価 B	《評価の理由》 利用者本位のサービス提供に努めています。
②経費の削減対策	光熱水費等は効率的に使用するよう心がけている。利用者に対しても、貼り紙などをして、節電・節水への協力をお願いしている。	評価 B	《評価の理由》 節電節水を呼び掛けるなど、光熱水費の抑制に努めています。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取組み	・ハローワークや市の求人情報を掲示し、求職者に対する情報提供を行っている。 ・ロビーの展示コーナーにおいて、市民サークルや団体等の作品展示を行っている。	評価 B	《評価の理由》 ・施設周辺の環境美化に努めています。 ・求人情報の掲示や、市民サークル団体の展示など、各種情報提供に努めています。 ・ペレットストーブを使用し環境保全のPRに努めています。
選定委員会による総合的な評価	B	《意見、要望等》 引き続き利用者に喜ばれる施設運営をお願いしたい。	

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 7

施設の名称	徳良湖温泉「花笠の湯」	指定管理者	(株)尾花沢市ふるさと振興公社
所在地	尾花沢市大字尾花沢地内	市担当課	尾花沢市商工観光課 観光物産係
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	評価	市(施設所管課)による評価・検証
1. 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂では、多種のメニューを検証して、注文の多い商品に集約し、効率化に努めたことで収益に貢献。 ・コロナ禍で減少した入浴者数を取り戻すため、入浴+海鮮丼セットを320食を販売、売上増加策にチャレンジし粗利で25万円程を計上できました。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>基本協定書に基づき、概ね適正に行われている。コロナ禍の影響があったが、周辺環境美化に努め、利用拡大に向けた取り組みが見られる。</p>
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年8月開業の当施設は、設備の老朽化や源泉温度が低く水量も落ちて経費負担が多かった。 ・電気料金の上昇(前年比41.8%増)や、重油代の単価の高騰(前年比16.0%増)等で収益面で大変厳しい経営状況となっており電気料金の効率化の為に手立てを考えていきます。 		<p>《課題等の原因分析》</p> <p>コロナ禍の影響も回復の兆しがあるものの、それ以上に電気料や重油代等の高騰による影響がかなり大きい。源泉の水量や温度が光熱費等に関わっており、対策を検討していく必要がある。</p>
③管理運営の今後の対応(改善策)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金の負担が重く、収益に影響していますので、今後とも市との連携を更に強化して、情報交換に努めます。また電気料金の中で、「基本料金」部分において効率化が可能であれば業者側と今後において交渉する予定です。 		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望で、自販機や展示物・売店・各種置物等でロビー内が混雑している何とかしてほしい。改善には時間も要しましたがスタッフ一同で、売店・自販機・展示物等を移動し、整理整頓を行いました。 ・今後共、利用者の安心安全を第一に考えて参ります。更にご来場者に対し満足のいく「おもてなしの心」を追究していきます。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>利用者からの要望等に対して、可能な範囲において即対応し、おもてなしに努めている。老朽化が進み、ハード的な修繕等で対応しきれていない部分があり、要検討事項である。</p>
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が毎日やってきたことは、店内外の清掃に気を配って実践しました。また、利用者獲得のために多くの企画を打ち出して利用者増を図りました。(利用者数6万7千人⇒8万2千人に増加。) 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>環境美化に努めるとともに、マッサージや野菜販売など、サービス向上に努めている。</p>
②経費の削減対策	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の注文データを基に、注文の少ないメニューを見直しをしたことで、収益拡大につながる。 ・電気料金の「基本料金」部分の効率化の為に今後、業者と交渉してまいります。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>節電等、経費削減の努力が見られるものの、電気料や燃料の高騰により、効果が見えにくい状況にある。</p>
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・徳良湖周辺の他の施設(レストラン徳良湖・オートキャンプ場・パントラック・スイカフェ・尾花沢元気村)との連携を更に図り、徳良湖の更なるイメージアップと各施設の利用の拡大に努めます。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>コロナ禍による影響もまだあったものの、イベント等に積極的に協力するとともに、地元野菜の販売等、地域活性化への取り組みも見られる。</p>
選定委員会による総合的な評価	B	総合評価	<p>《意見、要望等》</p> <p>引き続き営業努力をお願いしたい。</p>

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 8

施設の名称	尾花沢市徳良湖周辺施設	指定管理者	(株)尾花沢市ふるさと振興公社
所在地	尾花沢市大字二藤袋地内	市担当課	尾花沢市商工観光課 観光物産係
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	市(施設所管課)による評価・検証	
1. 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	<ul style="list-style-type: none"> 徳良湖周辺の誘客拡大を目標に美化整備に努めました。(例年は年1回の実施でしたが今年からは年2回実施)公社・パンフ・元気村・カフェ合同ボランティアクリーン作戦を実施しました。(累計参加者数75名) コロナの中、研修棟の貸出も活発化しています。 	評価	《評価の理由》 基本協定に基づき、概ね適正に行われている。 また、新型コロナウイルスの影響があるが、できることからということで環境美化に努め。周囲の団体とも協力して徳良湖周辺の誘客を図った。
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 草刈り作業についてですが、広大な施設であることから作業員が不足し、期限までに草刈りができずに急遽シルバー人材に派遣を要請しています。草刈り機械も古いことから作業中壊れて修理をしています。今後も費用の捻出が予想されます。 	《課題等の原因分析》	現状の人員では、対応すべき面積が広大であるが、働き手の確保がなかなかない点があげられる。
③管理運営の今後の対応(改善策)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民の皆さんに親しまれ愛される徳良湖を目指して積極的に取り組んで参ります。また、担当課との定例会議の中で話し合いを持ち課題解決に努めてまいります。 		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	<ul style="list-style-type: none"> レストランへの要望:リーズナブルで子供向けのメニューの提供に対応してきました。 グラウンドゴルフ場:草刈り作業の依頼に十分に対応してまいりました。 	評価	《評価の理由》 定期的な役職者会の開催など情報共有に努め、利用向上に努めている。
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ協会の意見に対応していきます。 レストランは、企画を考え業務改善に努めます。 キャンプ場は、新たな要望に答えてまいります。 安全・安心・清潔感のある徳良湖を守ります。 	評価	《評価の理由》 環境美化に努め、利用者の要望や意見をよく聞きできることから取り組んでいる。
②経費の削減対策	<ul style="list-style-type: none"> 電気料金の中で、「基本料金」部分において効率化が可能であれば業者側と交渉してまいります。 レストランの納入業者の選定について、原材料の大幅な高騰から、値下げ交渉と新納入業者との交渉も視野に入れて収益確保に努めていきます。 	評価	《評価の理由》 電気料や燃料代が高騰しており、なかなか金額に現れないが、節電等使用量について省エネに努力している。
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 徳良湖でのイベント等には積極的に協力します。 徳良湖周辺施設との連携を強化していきます。 公社かわら版の発行で、今後共PRしていきます。 ホームページや、SNSで積極的に発信します。 	評価	《評価の理由》 環境美化など、元気村やスイカフェなど周辺団体とも協力した取り組みがなされている。
選定委員会による総合的な評価	総合評価 <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	《意見、要望等》	継続してサービスの向上に努められたい。

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

管理NO. 9

施設の名称	尾花沢市花笠高原施設	指定管理者	(株)尾花沢市ふるさと振興公社
所在地	尾花沢市大字鶴子地内	市担当課	尾花沢市商工観光課 観光物産係
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日		
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	評価	市(施設所管課)による評価・検証
1. 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
①管理・運営の履行状況(特に留意していること)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の売上は、1年を通して旅行支援「旅割」があったことで、宿泊客や日帰り客が大幅に増加し、37.8%売上が増加しました。 地元旅行会社と共に新たな企画商品を開拓し積極的に誘客に努めました。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>コロナ禍による影響もあるなか、「旅割」等を活用し、利用向上に努めた。また、鶴子ダム探索などを合わせた独自企画を開催する等、工夫した取組みがなされた。</p>
②管理・運営上の問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 本年は開業30年目の年で、施設設備の老朽化が多く目立ってきました。更に電気料金の上昇(前年比30.8%増)や、薬湯原料の値上がりで収益に影響。 鶴子地区からの協力も地域の高齢化により徐々に協力が得られない状況になってきています。 		<p>《課題等の原因分析》</p> <p>施設の老朽化に対して修繕がなかなか追いつかない状況にある。優先順位等、効率的、計画的な修繕を市と話し合いながら、行ないたい。</p>
③管理運営の今後の対応(改善策)	<ul style="list-style-type: none"> 年間の電気料金支払いについて、収益改善の面から花笠の湯と同様に「基本料金」部分において効率化が可能であれば業者側と今後交渉する予定です。 		
2. 利用者からの要望等への対応			
①意見・要望の具体的内容とこれに対する対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの要望は沢山あります。その中で多いのはトイレの洋式化と壁紙・畳の修復や、浴場の壁のクロスの修復・脱衣所にロッカーの設置等です。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>施設の老朽化に伴う要望や意見が多く、公社だけでは対応しきれない所がある。老朽化によるもの以外の部分については、できる限り対応している。</p>
3. 指定管理者制度活用の効果			
①サービス向上のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> 6棟あるログハウスの利活用を進めていきます。施設も古くなっていますので、ロビー、客室、大浴場の清掃には特段、毎日気をつけて実践しています。 新企画ダム見学と歴史の旅を実施。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>老朽化が進む中、維持管理に気を付けている。また、独自企画なども実施し、利用拡大の努力が見受けられる。</p>
②経費の削減対策	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況の少なかった大浴場の食堂部門を廃止したことで経費の削減に繋がりました。 電気料金の「基本料金」部分の効率化の為に、今後業者と交渉をしております。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>コロナ禍による燃料代等の高騰の影響により、省エネや節電の努力が見えにくくなっているが、今後とも節電や省エネに取り組んでもらいたい。</p>
③地域活性化や雇用確保等の自主的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地元食材を献立に使用。(地産地消:米、野菜) 青空市場(朝市)の開催で宿泊客が購入する。 市民優先で雇用しています。今後も継続方針。 	B	<p>《評価の理由》</p> <p>地域と協力し、大浴場利用拡大に努めたり、朝市の実施など、地域密着型の取組みを積極的に行っている。</p>
選定委員会による総合的な評価	B	総合評価	<p>《意見、要望等》</p> <p>継続してサービスの向上に努められたい。</p>